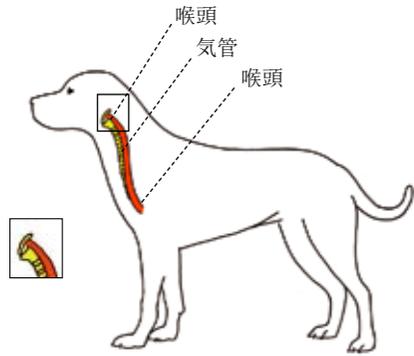


気管

気管はC字形の軟骨が積み重なったものです。

首輪で首を痛めると、軟骨を損傷するので気道が狭まり、呼吸困難を引き起こします。



喉頭

喉頭は気管の上にあるとても重要な弁です。この弁は肺に食べ物が入らないよう閉じています。

首輪で首を痛めると、飲み込むのが困難になつたり、むせたり、痛みを伴うようになります。

食道

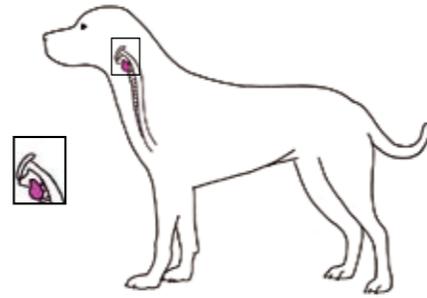
食道は口から食べた物を胃に運ぶ筋肉管です。

首輪で首を痛めると、飲み込むのが困難になり、痛みを伴うようになります。

甲状腺

甲状腺とはホルモン分泌が最大の器官の一つです。新陳代謝、体温、心拍数、呼吸数、脳や細胞の成長、精神のバランスなどを調整するとても重要な器官です。

首輪で首を痛めると、甲状腺機能低下を引き起こします。



犬の体にフィットしたハーネス

Y型ハーネス：肩関節の動きを邪魔しません。

首が自由に動きます。
胸部にハーネスを着けます。

Yの中心は胸骨上の肩にフィットさせます。

リードを付ける位置



脇の下が擦れないようにします。

首輪について考えたことはありますか？



人間の場合、むち打ちの後遺症は長期化します。人間と同じように首輪で首を痛めることもあるのです。

痛みにより行動が左右されます。

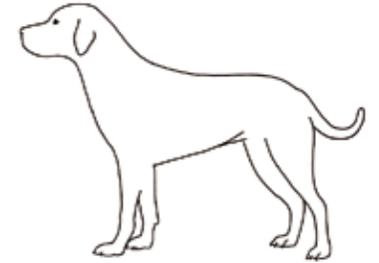
Content developed by Freedogz.be, edited by Haqihana.com

首の重要な器官

皮膚

全身を毛で覆い、日焼けや外的圧力から身を守ります。皮膚は外の世界と体の内部を隔てる重要な障壁です。

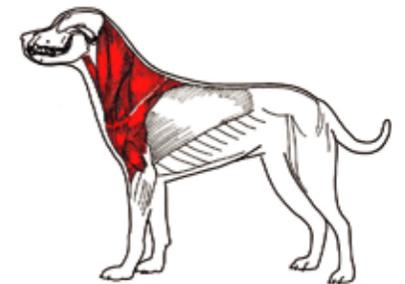
輪で首首を痛めると、毛が抜けたり、怒りっぽくなつたり、生傷が絶えず、痛がつたりします。



筋肉

犬は首の筋肉で重力に逆らい首を持ち上げます。人間とは違って、犬の頭にかかる重力の中心は外側に外れています。犬が動くときは、首の筋肉でバランスを取り、視界や内耳の平衡を保ちます。

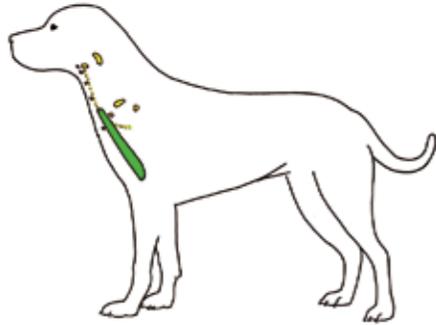
首輪で首を痛めると、打撲傷、緊張、痛みを伴います。首にケガをすることで、体全体に広がります。



リンパ

リンパは細胞間を流れます。毛細リンパ管からリンパ腺に流れ、リンパ節は濾過して血液を心臓に戻す重要な免疫機能です。

首輪で首を痛めると、リンパが詰まったり、血管が破裂したり、免疫機能が低下したり、痛みを伴います。



胸腺

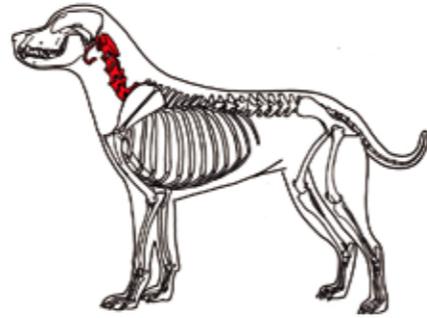
毛細リンパ管からリンパ腺に流れ、リンパ節は濾過して血液を心臓に戻す重要な免疫機能です。

首輪で首を痛めると、リンパが詰まったり、血管が破裂したり、免疫機能が低下したり、痛みを伴います。

舌骨

U字型の小骨は舌骨と顎がつながっており、舌を動かしたり、食べ物を飲み込むのに重要です。

首輪で首を痛めると、飲み込むのが難しくなります。



椎骨と椎間板

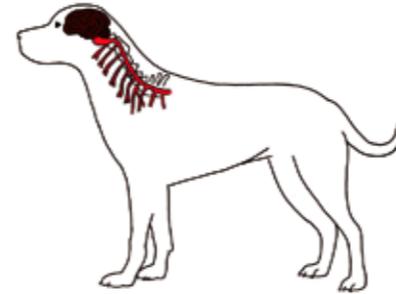
犬の頸椎には椎骨が7つあり、椎間板は軟骨とコラーゲン繊維から成ります。

首輪をするストレスから、椎骨の間の毛を切ると異常なストレスを感じ、脊柱管の間隔が狭まり、脊髄に異常が見られることもあります。

脊髄

脊髄とは脳から背骨を通る神経です。

首輪をするストレスから、椎骨の間の毛を切ると異常なストレスを感じ、脊柱管の間隔が狭まり、脊髄に異常が見られることもあります。



神経

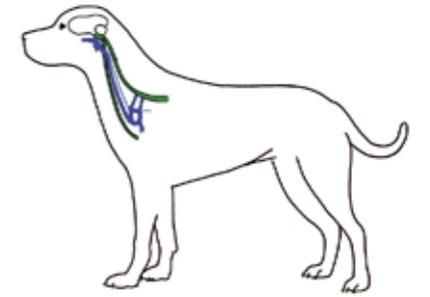
脊髄から伸びる末梢神経は、椎骨の間の脊柱管に存在します。末梢神経には脳から筋肉に信号を伝える運動神経と皮膚から脳へ信号を伝える感覚神経があります。

首輪で首を痛めると、関節炎やペルニアにより、痛みを感じたり、神経機能を損傷する可能性もあります。

交感神経と副交感神経

交感神経と副交感神経は、心拍数、消化、呼吸数などの付随な自律神経で、脳と体の器官をつなぐ神経経路です。

首輪で首を痛めると、物理的損傷で直接神経を痛めたり、間接的には周辺組織を圧迫します。



循環器

首の血管は血を脳に運ぶ重要な役割があります。

首輪で首を痛めると、脳の血圧や眼圧が高くなると、脳内の血の巡りが悪くなり、緑内障を引き起こします。

